

認知症が他人ごとでなくなって...

母が認知症になり始めたのは12年前。交通事故がきっかけだった。2ヶ月程度の入院だったが、脳の萎縮が急激に進んだ。80歳手前だったので、ずいぶん物忘れがひどくなったけどまあ、年相応と安易に考えていたが、夜になると感情がコントロール出来なくなり、同居している父には相当きつく当たっていたようだ。耳も聞こえにくくなっていたので、大きな声で話すと「怒鳴られる」「暴言をはかれる」と自分が責められているように受け止め、罵声の応酬。そんな2人を見るたびに自分も心にダメージを受けてしんどくなっていた。

本人も日常生活がうまくいかず、不安を感じていて家族に頼りたいのに、大きな声で「怒鳴られ」たりすればつらく感じているだろうし、家族もしんどい。普段通りの受け答えを心がけてきたつもりだが...

それから10年あまり過ぎた。当時は自分がこれまで出来ていた日常生活が思うようにできず、イライラしていたが、最近はそのことも忘れていいのか穏やかだ。また、父が入院して一人になったので、気が楽になったのだろうか。お互いにストレスを感じていたのだろうか。父も入院先でほっとしたのか言動があやしくなっている。

忘れてしまうのは仕方ないやん。むしろつらい悲しい思い出はどんどん忘れていった方がいい。暗くならず明るく接して行こう。とはいえ、介護はきれいごとでは済まない。ずっと家族で看られたら一番いいけど、限界を感じたら誰かに助けてもらった方がいいやんと思う今日この頃。

ひろりん